

職層研修「係長研修」（第5回）

【日時】	令和2年12月4日（金）、15日（火）、22日（火） 9:00～17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	65名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>（1日目）</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>（2・3日目）</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の実体験に基づいた話が聞け、大変勉強になりました。人権問題は、個別具体的に捉える必要があり、引き続き自分自身でも研鑽を行っていききたいと思います。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録や根拠の確認といった、基本的な事務作業が大切だと改めて感じました。また、基本的な裁判の制度についての説明もあり、勉強になりました。

【えせ同和行為対応】

- ・えせ同和行為という言葉聞いたことはあったが、具体的にどういうことなのかあまり知りませんでした。DVDを視聴しながらの講義だったため、わかりやすかったです。

【特別区制度】

- ・特別区制度についてあいまいだった部分がありましたが、講義を聞いたことで、理解が深まりました。

【係長の役割】

- ・テクニック要素が多く、非常に役に立つ講義でした。部下とコミュニケーションを取る際に活用していきたいと思います。
- ・メンタルヘルスの講義では、ケーススタディを用いながらの講義だったため、具体的でわかりやすかったです。